

事業の目的・概要

【目的】

「新しい東北」の実現に向け、被災地で既に芽生えている先導的な取組を育て、被災地での横展開を進め、東北、ひいては日本のモデルとしていくため、先導的な取組を幅広く公募し、支援することを目的としています。

【概要】

（1）応募資格

復興に取り組む法人・団体であれば、以下の2点の他、特段の制限はありません。

- ・ 企業単独、地方公共団体単独での応募はできません。
- ・ 下記②プロジェクト事業は、被災地の法人・団体が構成団体に含まれる必要があります。

（2）募集する提案

平成27年度「新しい東北」先導モデル事業では、以下の2区分において提案を募集します。

- ① 支援型事業（詳細はP. 2を御参照ください）
- ② プロジェクト事業（詳細はP. 3～5を御参照ください）

（3）支援対象となる取組・経費の範囲

取組の立ち上げ段階において必要となるソフト面の取組を包括的に支援します。

（施設整備等のハード事業は対象になりません。）

支援対象例 : 関係者の合意形成に向けたワークショップ等の開催に関する経費
取組の検討や効果検証に必要な人件費や専門家招聘の経費

等

（4）選定に向けた手続

選定基準に則り、復興推進委員等の有識者からの意見を踏まえた上で、支援対象事業を選定します。

※ 本公募は、平成27年度の予算の成立が前提となります。

①支援型事業の公募について

1. 募集する提案

被災地では、リーダーとなる人材の育成・確保や起業・新事業の創出やコミュニティ活動立ち上げに向けた支援、被災地事業者の販路開拓・経営改善の支援等、各種取組・事業に横断した課題が存在します。こうした横断的な課題の解決に向けた支援を行う取組を募集します。【1件当たり2,000~3,000万円程度を支援（10件程度）】

2. 選定基準

※特に「c. 相乗効果・波及効果」を重視します。

- a. 先導性・モデル性 … 先進的な発想や手法の活用、他の参考となり得る取組内容
- b. 持続性 … 将来にわたり持続的に実施可能な取組内容、地域の関係者を巻き込んだ実施体制の構築
- c. 相乗効果・波及効果 … 取組の発展に向けた、多様な連携先の確保や効果的な情報発信
- d. 計画性・実現可能性 … 明確かつ具体的な取組内容、無理のない取組スケジュール
- e. 効率性 … 取組の目的・規模に照らして、適切と考えられる必要経費

3. スケジュール

○公募期間

平成27年2月 6日（金）
～平成27年3月27日（金）

○公募〆切

平成27年3月27日（金） 12:00

2/6
～3/27

公募期間

4月上旬
～5月下旬

審査期間

5月下旬

取組選定

6月上旬
～年度末

取組実施

参考：平成26年度モデル事業における選定案件例

販路の開拓

「東北百貨店 推奨ブランド」の育成

百貨店の現役バイヤーやOBの知識・情報力・経験を投入し、商品開発のアドバイスを行い、「支援」から「協働」による東北の優れた商品の販路拡大を目指し、カタログの作成や全国へのプロモーションを実施。



成功事例の共有

「東の食の実行会議」

東北の農林水産業、食産業等の生産者、民間企業、行政、NPO等の各分野におけるキーパーソンが参集し、成功事例について情報共有を行い、参加企業が協力し、復興に向けた具体的なアクションを策定し実行。

②プロジェクト事業の公募について（1）

1. 募集する提案

以下の5分野に関して、復興推進委員会における議論の状況に即したプロジェクトを募集します。

- ・1件当たり1,000万円程度を支援（35件程度）
- ・ただし、広域的に多数の団体が参加するような大規模な事業は、1件当たり2,000～3,000万円程度を支援（5件程度）

元気で健やかな子どもの成長を見守る安心な社会
(子どもの居場所づくりや教育環境の整備など)

「高齢者標準」による活力ある超高齢社会
(自立のための生活支援、健康支援、地域医療など)

持続可能なエネルギー社会（自律・分散型エネルギー社会）
(再生可能エネルギーやスマートコミュニティの導入など)

頑健で高い回復力を持った社会基盤(システム)の導入で先進する社会
(住民が主体となった防災活動やコミュニティの再生など)

高い発信力を持った地域資源を活用する社会
(価値共創ビジネスの推進、豊かな観光資源の活用など)

2. 選定基準

※特に「a. 先導性・モデル性」「b. 持続性」「d. 計画性・実現可能性」を重視します。

- a. 先導性・モデル性 … 先進的な発想や手法の活用、他の参考となり得る取組内容
- b. 持続性 … 将来にわたり持続的に実施可能な取組内容、地域の関係者を巻き込んだ実施体制の構築
- c. 相乗効果・波及効果 … 取組の発展に向けた、多様な連携先の確保や効果的な情報発信
- d. 計画性・実現可能性 … 明確かつ具体的な取組内容、無理のない取組スケジュール
- e. 効率性 … 取組の目的・規模に照らして、適切と考えられる必要経費

3. スケジュール

○公募期間

平成27年2月 6日（金）
～平成27年3月27日（金）

○公募〆切

平成27年3月27日（金） 12:00

2/6
～3/27

公募期間

4月上旬
～5月下旬

審査期間

5月下旬

取組選定

6月上旬
～年度末

取組実施

②プロジェクト事業の公募について（2）

参考：平成26年度モデル事業における選定案件例（1）

子どもの成長

子どもの成長を育む地域の遊び場づくり

災害復興期における地域と子どもをつなぐコミュニティづくりを目指し、災害公営住宅等で住民を交えた子どもの遊び場の実践と事例調査等を実施。



子どもの成長

高校生がつくるキャリア教育プロジェクト

職業観の醸成及び地域の将来を考えるきっかけづくりのために、高校生が主体となって地域の様々な業種の大人や高校と連携したキャリア教育プロジェクトを実施。



高齢社会

保育所を活用した生活不活発病防止給食受取システムの構築

仮設住宅における高齢者の生活不活発病等の問題に対し、適切な食事管理と見守り、相談相手として、栄養ケア・ステーションを通じた保育所給食を利用した食事受取システムを構築。



高齢社会

コミュニティ・サポートのプロトタイプ開発

地元の高齢者自身の社会参加による共助的なコミュニティ支援（高齢者の健康づくり等）の在り方を汎用的かつ具体的な手法としてマニュアル化。



高齢社会

ICTを活用した無人販売所プロジェクト

セルフレジを活用したプリペイド決済方式の無人販売所システムを設置し、利用者自らが操作して日用品等を購入できる仕組みにより、買い物の利便性を向上。



高齢社会

民間主導型オンデマンドバスによる高齢者移動自立支援

商店街の店舗やクリニックが費用を分担して運行する民間主導型オンデマンドバスの実現をめざし、3ヶ月間に渡る実証運行を実施。



エネルギー

温泉熱を活かした六次化産業創出

再生可能エネルギー資源（温泉熱）を活用したニューツーリズム商品を開発。



社会基盤

地域課題に応じた防災訓練モデル化

地域の危機管理能力の向上及び津波避難行動の習慣化を目指し、地域課題に応じた住民参加による避難訓練手法等のモデルを構築。



社会基盤

地域住民が主体となった地区防災計画

専門家の知見、地元の体験の共有を通じて、地区が抱えるリスクの抽出とその対応策について徹底的に見出すことにより、地域住民が主体となって防災計画を作成。



②プロジェクト事業の公募について（3）

参考：平成26年度モデル事業における選定案件例（2）

地域資源（一次産業）

浜の未利用資源の高機能性食品化

持続可能な地域産業の確立に向けて、市場では流通していなかった未利用の水産物を活用し、「機能性」と「高付加価値化」に焦点を当てた新商品を開発。



地域資源（一次産業）

中山間地域での新たな農業モデルの実現

中山間地域農業の所得向上を目指し、植物工場を活用した低コスト・省力化栽培方法の確立や機能性野菜の生産方法の研究、鮮度表示方法についての検討等を実施。



地域資源（一次産業）

太陽熱乾燥庫を活用した里山文化の再興

里山の産業復興を目指し、太陽熱乾燥庫を活用した地域木材や農林産物の乾燥実証実験や、地域木材の災害公営住宅への供給等を実施。



地域資源（一次産業）

東北発「被災地花き」ブランドの創造

東北産花きの販路の拡大及びブランドの確立等を目的として、日持ち性が良く華やかな高品質ブーケ等の新たな商品開発、プロモーション活動、生産者への教育活動等を行う。



地域資源（一次産業）

東北産品の海外展開加速化

生産者・食品事業者などが輸入条件の厳しい欧州や米国に対してもチャレンジできるよう、メディアやSNS等を活用して現地の趣向を容易に商品開発やプロモーションに反映できる手法を確立。



地域資源（観光）

スマートフォン等でのカード決済の導入

観光地の小売店、飲食店等でモバイル端末を使ったクレジットカード決済を導入することにより、消費の誘発による地域活性化の効果を検証。



地域資源（観光）

「旅館」のブランド価値向上

東北の旅館がアライアンスを組み、旅館側に送客手数料の負担を求めない旅館専用の予約サイトのビジネスモデルを提案。グローバル市場における旅館の価値向上を目指す。



地域資源（ものづくり・IT）

伝統技能継承と先端技術の融合によるなりわい再生

地域のものづくりの発展を目指し、伝統技能と先端技術を融合させ、新製品を開発。その際、障害者や高齢者の社会参画を促進。



地域資源（環境）

「三陸ジオパーク」の観光資源化

三陸海岸という広域の地質・地形に、「ジオパーク」という新たな付加価値を見出し、水産業や自然景観等の既存の資源とあわせ、新たな観光資源化。

